

東風

HARUKAZE

令和2年12月15日発行

地域防災力を高める“顔の見える関係”

社会形成能力

“笑顔の挨拶の輪”は『共助』の源

「天災（災害）は忘れたころにやってくる」

科学者で随筆家の寺田寅彦氏の言葉といわれています。しかし今は、

「天災（災害）は、忘れる間もなくやってくる」

と、いってもいいのではないでしょうか。

昨年度のハイタッチ挨拶運動



様々なデータがありますが、1901-2000年の間で、地球の平均気温は1°C上昇しています。対策を施さないと、2100年にはさらに4°C以上上昇するとの説があります。

確かに、近年、しとしと雨が降る「梅雨」のイメージは全くありませんね。秋の台風も巨大化していると言われます。海水表面の水温上昇に起因していることは間違いないありませんが、47都道府県の中でも、福岡県は、特にその影響を色濃く受けています。

福岡県で、災害で命を落とされた方の99%は大雨が要因です。数十年に一度のはずの「大雨特別警報」は、4年連続で発令されています。（47都道府県で唯一です）

九州地方と山口県では、1時間に50mm以上の雨の回数も、この30年で平均約70回/年から約100回/年に増えています。年間約30回も増えているのです。もし、このまま平均気温や海水表面の温度が上がると、6月～10月にかけて「毎週2回大雨特別警報が出される」かもしれません。

11月7日（土）新宮東中校区減災の日に、大雨を想定した保護者引き渡し訓練を実施したのも、そこに理由があります。豪雨の中、本当に生徒の皆さんを引き渡すことになれば、保護者の方は、小学校や幼稚園・保育園にいるきょうだいも迎えに行かなければなりません。ベビーカーに乗った幼いきょうだいがいるかもしれません。災害はいつ・どのような状況でおこるかわかりません。

そのときに最も大切なのが、『共助』の精神と力です。助け合える校区の力を、**地域防災力**といいます。**地域防災力**の重要な要素の一つが、校区の皆さんと**「日頃から顔見知りになる」**ことです。

下の生徒会スローガン横断幕にある「しなやかさをもち笑顔の挨拶の輪を大切にできる新宮東中」には、**縮災（レジリエンス）**と**地域防災力**の要素がぎゅっと詰まっています。

第2代生徒会役員の任期もあと僅かです。様々なことをしなやかに成し遂げてきた皆さんが追求してきた**「笑顔の挨拶の輪」**。『共助』の源をますます広げていってくれることを期待しています。



はるかぜ返信40（担任にご提出ください。必ず校長まで届きます。封筒に入れていただいてもかまいません。）